令和８年度長崎県公立学校
教員採用選考第１次試験問題

教科・科目
中学　国語

受験番号		氏名	

実施日　令和７年５月１１日（日）

copyright2026_kyosai-guild.jp

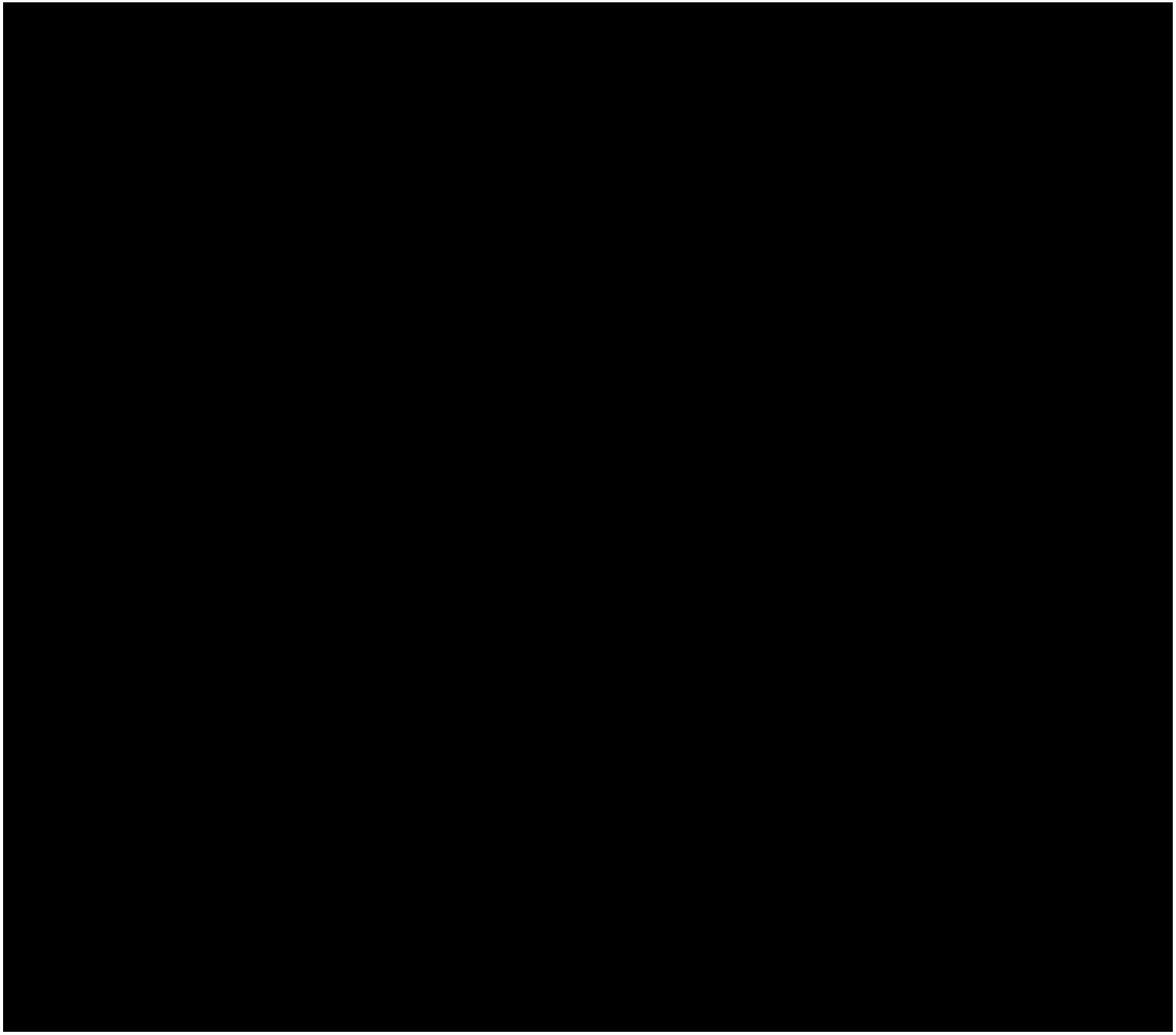
令和八年度長崎県公立学校教員採用選考試験

国語

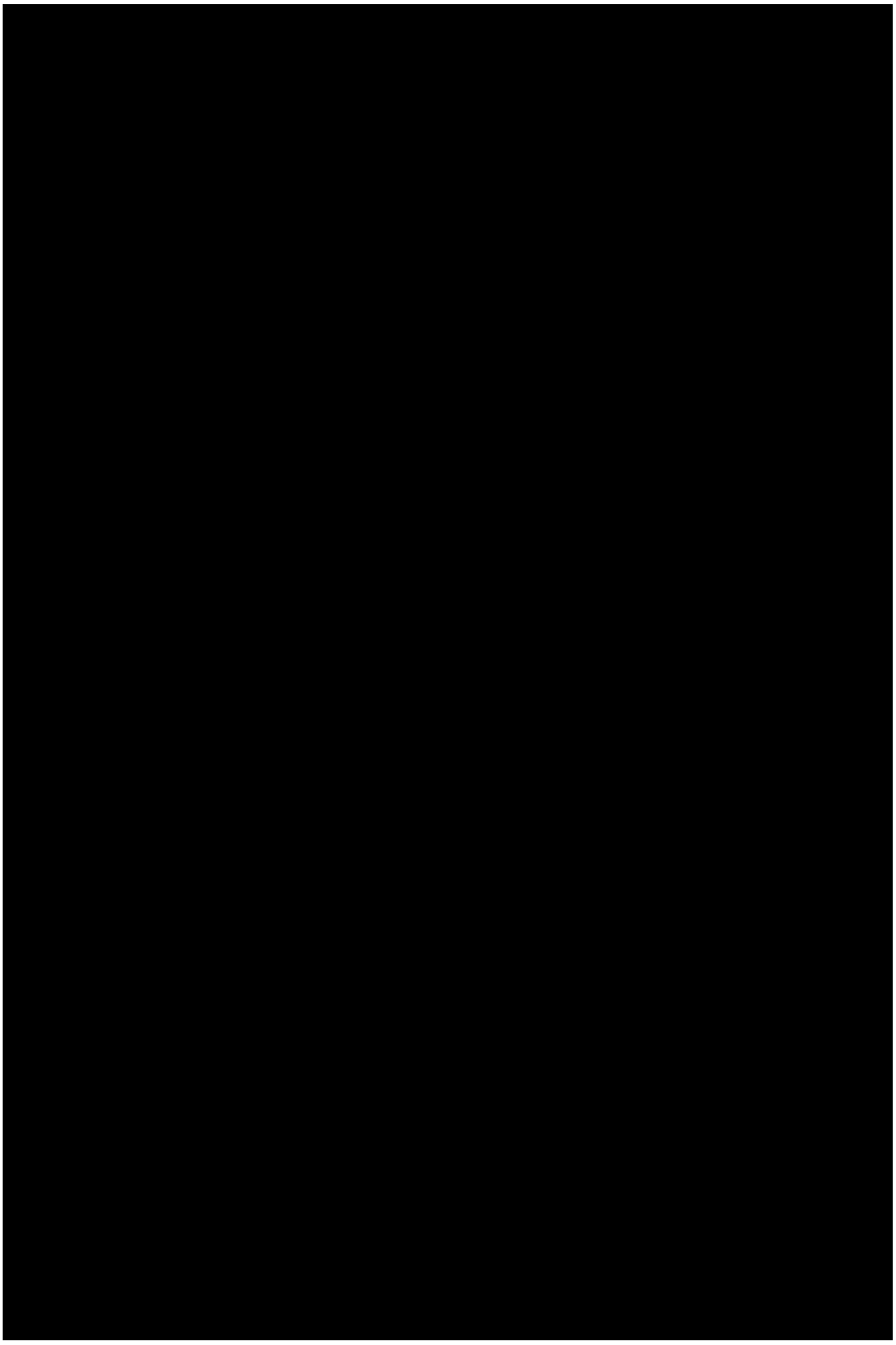
※解答はすべて解答用紙の該当欄に記入すること。
※字数制限のある問題では、句読点やかっこも字数に含む。

一

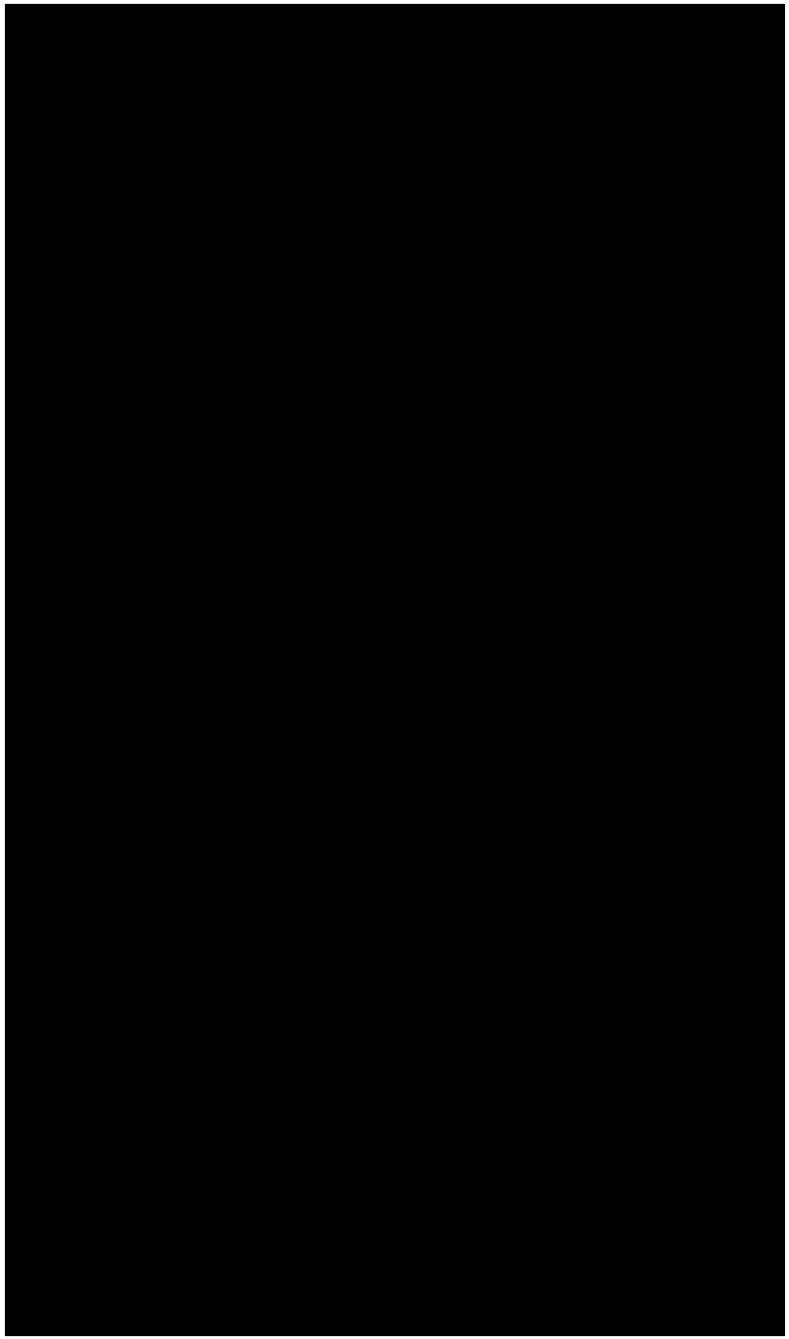
次の文章は小川仁志『哲学の最新キーワードを読む』の一部である。これを読んで、後の問いに答えよ。



copyright2026_kyosai-guild.jp



copyright2026_kyosai-guild.jp



※１　宮津……宮津大輔。『アート×テクノロジーの時代』の著者。
※２　キュレーション……美術館・博物館で研究・収集・展示などを専門的に行うこと。

問一　波線部**a**～**c**のカタカナを漢字に直せ。

問二　空欄**Ⅰ**～**Ⅲ**に入る語の組合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　**Ⅰ**　たとえば　　**Ⅱ**　そして　　**Ⅲ**　まるで
イ　**Ⅰ**　あたかも　　**Ⅱ**　まるで　　**Ⅲ**　つまり
ウ　**Ⅰ**　まるで　　**Ⅱ**　つまり　　**Ⅲ**　なぜなら
エ　**Ⅰ**　つまり　　**Ⅱ**　なぜなら　　**Ⅲ**　たとえば
オ　**Ⅰ**　なぜなら　　**Ⅱ**　たとえば　　**Ⅲ**　そして

問三　傍線部①とあるが、どういうことか。八十字以内で説明せよ。

問四　傍線部②とあるが、それはなぜか。「メディア」と比較して八十字以内で説明せよ。ただし、「ピカソ」「ゲルニカ」の語を使用しないこと。

問五　空欄**A**～**D**に入る語の組合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　**A**　身近　　**B**　遠く　　**C**　普遍　　**D**　抽象
イ　**A**　身近　　**B**　遠く　　**C**　抽象　　**D**　普遍
ウ　**A**　遠く　　**B**　身近　　**C**　普遍　　**D**　抽象
エ　**A**　遠く　　**B**　身近　　**C**　抽象　　**D**　普遍

copyright2026_kyosai-guild.jp

問六　傍線部③とあるが、どういうことか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　現代アートは、鑑賞する人間が共同体の一員となるような新しい共同体を作り出すことで、他者を理解する装置になりうるということ。

イ　現代において、新しい共同体がポテンシャルを発揮するために、政治的メッセージを含むアートが尊重される方向にあるということ。

ウ　現代では、アートを鑑賞するだけでなく、そこに自分も参加することで、伝統的な共同体を強固なものにできるようになるということ。

エ　現代のアート、特に視覚芸術の分野では、テクノロジーの発達によって公共空間を新たに創造する重要性が、増々高まっていくということ。

オ　従来のアートは政治と距離を置き自律性を保ってきたが、現代アートはむしろ、政治性を意識することで、より発展できるということ。

問七　本文の内容について説明したものとして**適当でないもの**を次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　コンピューターは、私たちの生活を大きく変えただけでなく、アートにも活用されることによって、社会に対しても多大な影響を与えている。

イ　現在私たちが目にしているアートは、社会と私たちとのかかわりを大きく変える力を持っている可能性がある。

ウ　伝統的な共同体は、伝統的であるせいで変化できず、限界があるが、新しい共同体は、伝統と無縁であるから、ポテンシャルがある。

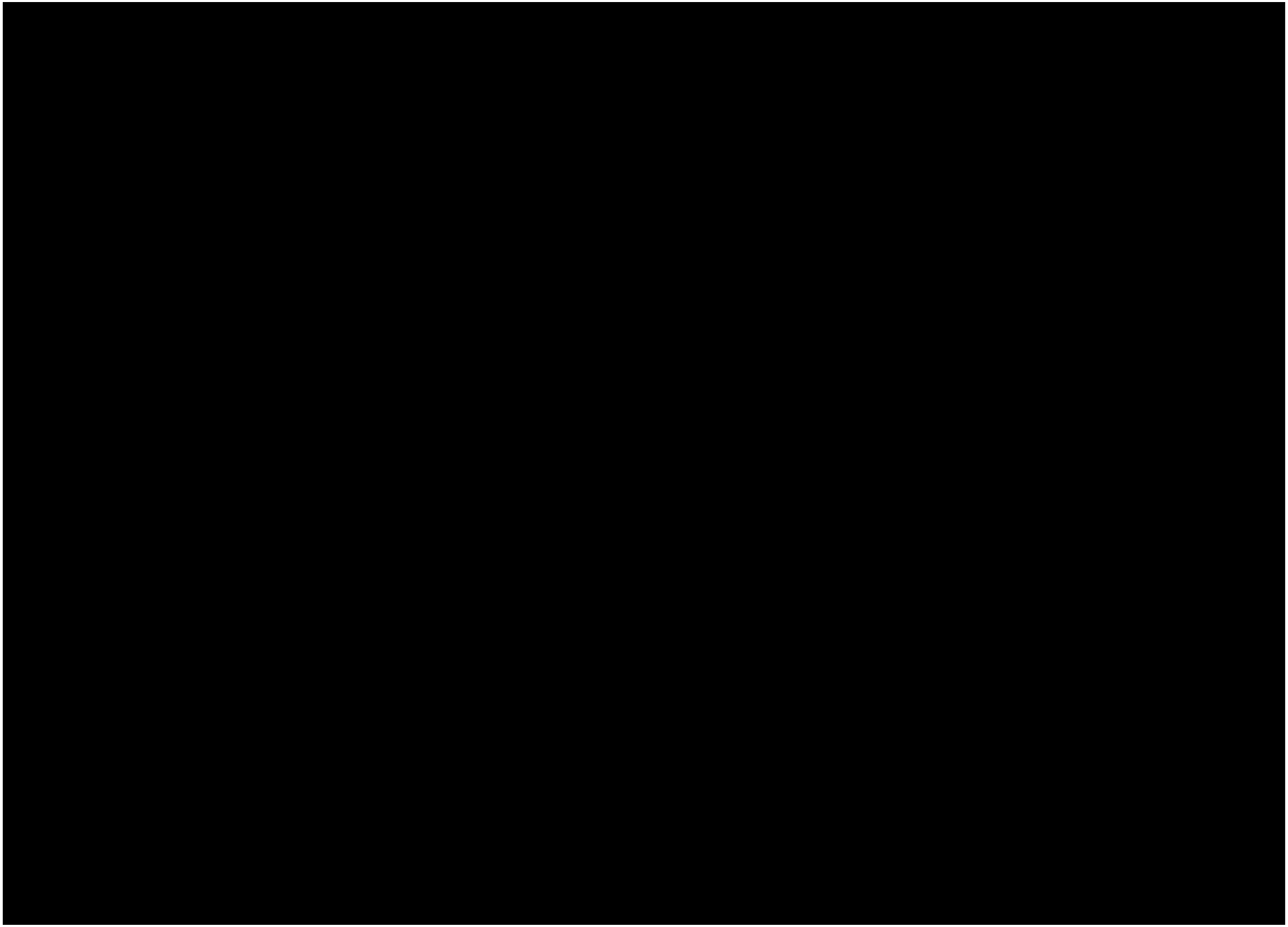
エ　グロイスによれば、マスカルチャーとは違い、現代アートがつくりだす共同体は、観客が自分を共同体の一員と意識するようにできている。

オ　共同体において人が互いに支え合っていることを意識できれば、必然的に苦しんでいる人を互いに支えようとする社会が実現できる。

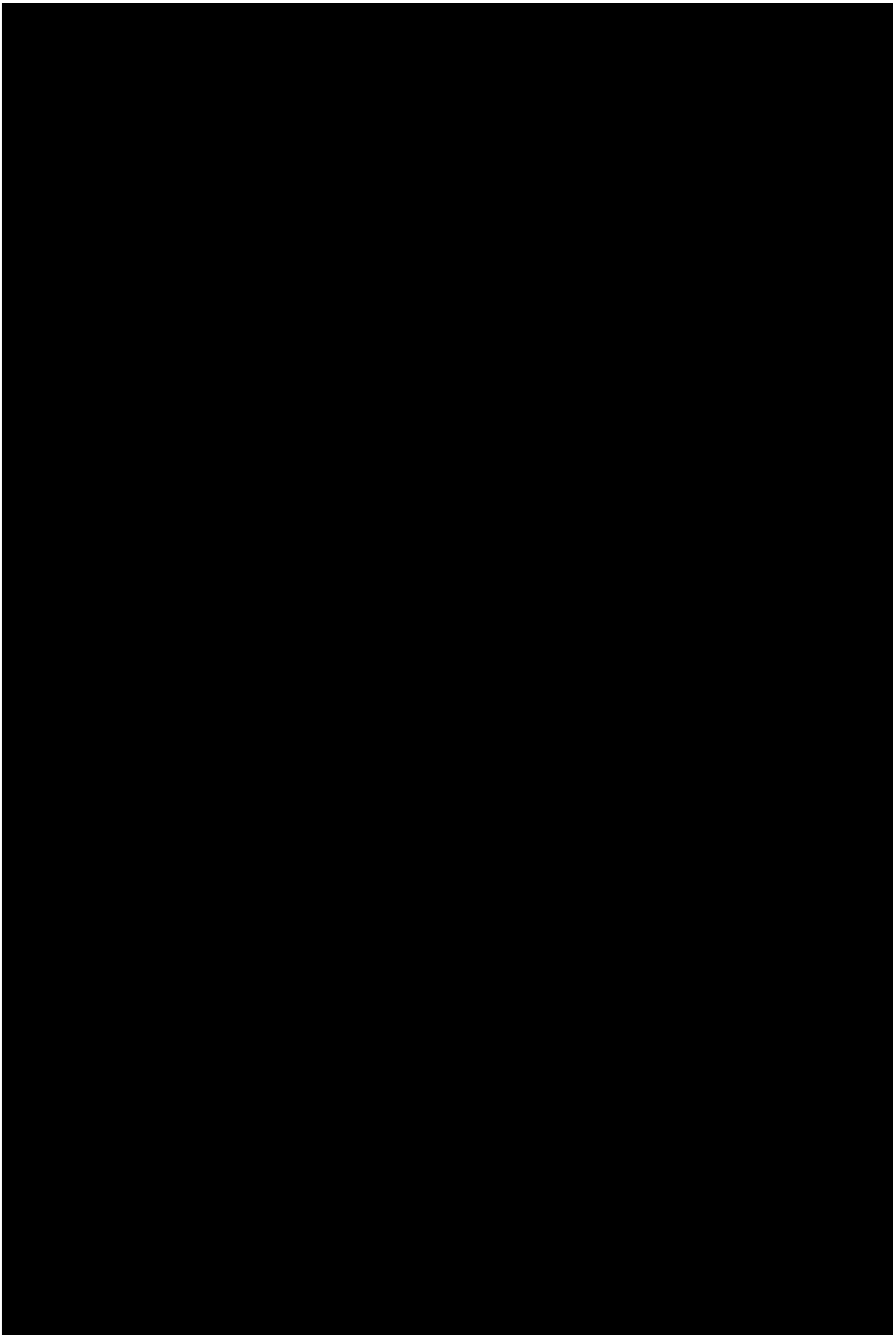
copyright2026_kyosai-guild.jp

一一

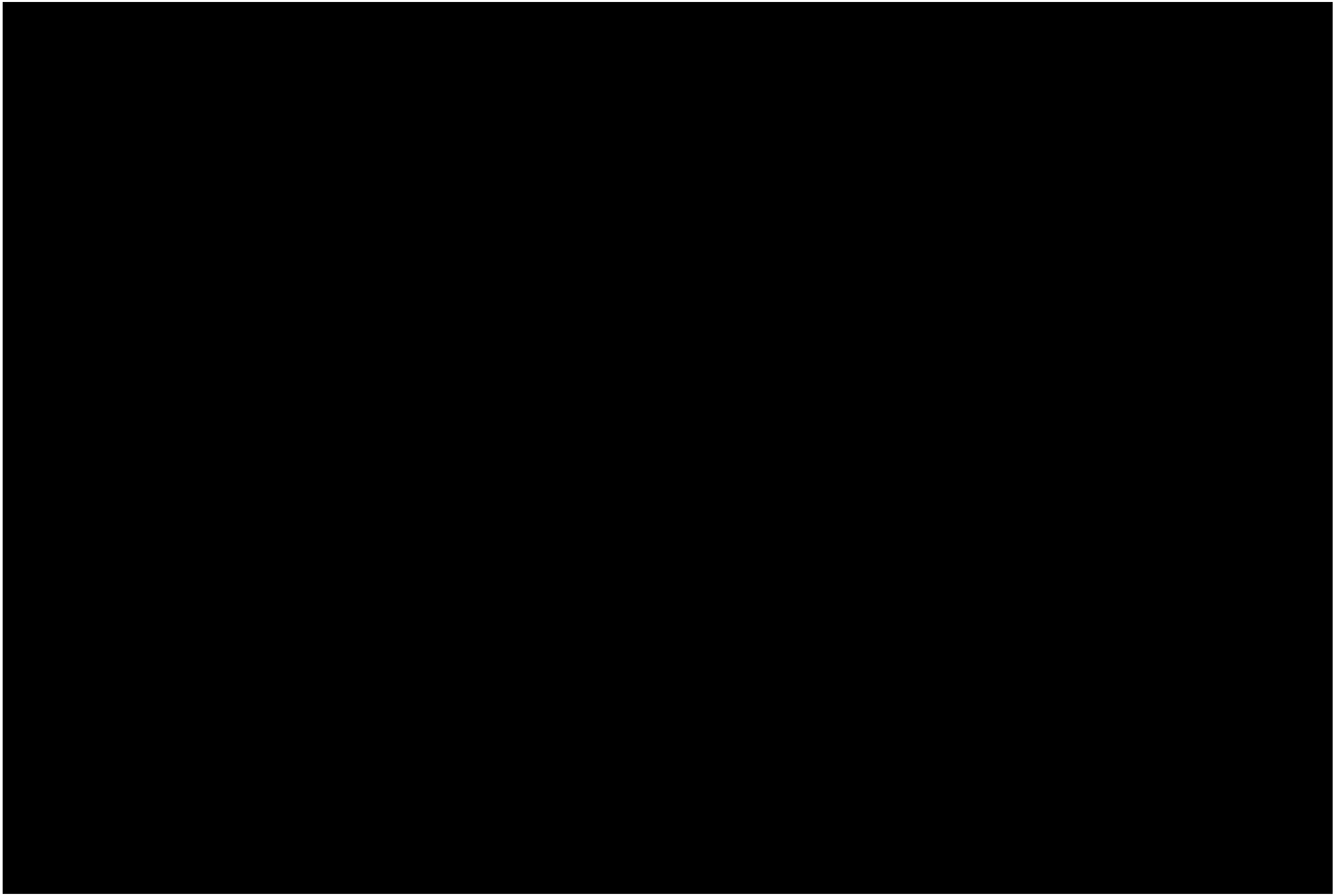
次の文章は、佐多稲子『水』の一部である。これを読んで、後の問いに答えよ。



copyright2026_kyosai-guild.jp



copyright2026_kyosai-guild.jp



copyright2026_kyosai-guild.jp

※１　瞞着……だますこと。ごまかすこと。
※２　入善……富山県下新川郡入善町
（本文中には、現在では差別的で不適切と思われる表現があるが、作品が書かれた時代背景等を考慮して原文のままとしている）

問一　波線部ａ～ｃのカタカナを漢字に直せ。

問二　傍線部①とあるが、この言葉の意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア　ある物事に心を奪われて、我を忘れる様子。
イ　意志が強く、容易に自分の主義・主張を曲げないこと。
ウ　珍しい物事などに強く興味や関心を向けること。
エ　自分だけ得をしようと、さりげなくずるい事をする様子。
オ　世の中の不義・不正を見聞きして、絶対に許せないと怒ること。

問三　傍線部②とあるが、このころの回想における母と幾代について説明したものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア　幾代は、母の乳を探る自分の手を払う母の仕草から、夫を亡くして自暴自棄になる様子を感じとって不安になっている。
イ　母親が、若くして夫を亡くしてしまった自分の不幸な運命を恨む心情が、三人の子どもたちへの態度に表れている。
ウ　幾代は、暗い寝床の中で母の顔を探りながら、幼いながらも母の悲しみを敏感に感じとっている。
エ　母親は、夫の代わりに働くようになり疲れているが、幼くして父を亡くした幾代に存分に甘えさせてやりたいと思っている。
オ　幾代は末っ子で、夫が一番可愛がっていたことを思い出すと、母親として悲しくなるから距離を置く必要を感じている。

問四　空欄［　　］に入る言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア　ゆっくりと
イ　さばさばと
ウ　おずおずと
エ　ずけずけと
オ　もじもじと

copyright2026_kyosai-guild.jp

問五　傍線部③とあるが、このときの幾代の心情を説明したものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　女主人が留守の夫に連絡を取って、主人が帰ってきて幾代を引き留めやしないかと心配になって、何とかして旅館を抜け出そうと策をめぐらしている。

イ　女主人には幾代の母親に対する思いが分かるわけがなく、これ以上、旅館に留まらず、早く母親の元に駆けつけたいという思いに駆られている。

ウ　母親が危篤だという知らせがあっても、帰郷をためらっているうちに、母が死んだという知らせを受け、その事実を受け入れられず茫然としている。

エ　以前から幾代のことを小馬鹿にしていて嫌悪感を抱いていた女主人が、母親が死んだことについて哀悼の意も表さずにいることに怒りを感じている。

オ　早くしなければ列車が発車する時刻になってしまうということにばかり気を取られてしまい、女主人のことばが耳に入らずにいる。

問六　傍線部④とあるが、それはなぜか。八十字以内で具体的に説明せよ。

問七　傍線部⑤とあるが、これはどのようなことを比喩的に表しているか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　蛇口から出る水は幾代のとめどない悲しみであり、街ゆく人々にはその悲しみは目にも留まらないものであるということ。

イ　蛇口から出る水は幾代の母親への愛情であって、母親の死後もその愛情は幾代の心に留まりつづけるということ。

ウ　蛇口から出る水は母と過ごした日々の思い出であり、出続ける水と同様に母との思い出が走馬灯のように駆け巡っているということ。

エ　蛇口から出る水は、母親が背負ってきた労苦に思われて、母親の死後もその労苦は報われることがないだろうということ。

オ　蛇口から出る水は、幾代の不孝を責める声であり、母を一人で死なせたことを周囲から責められているように感じているということ。

問八　本文の内容について説明したものとして、**適当でないもの**を次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　幾代は身体の引け目を感じながらも、母が自分事のように悲しみを背負ってくれていたからこそ、素直な性質で誠実に生きている。

イ　幾代は生来の負けん気をもっており、旅館では身体の引け目を見せない働きぶりが認められていることを仕合せと感じて生きている。

ウ　幾代は、いつか自分が働いて貯めたお金で、母親を湯治に出してあげたいという思いから懸命に働いてきた。

エ　幾代は、自身が勤める旅館の主人は、幾代を大事にしてくれていると思っていたため、暇をもらえないと知って、悲しんだ。

オ　幾代の身体の引け目は、母が背負ってきた罪であることを幾代は知りながら、母の労苦を知っているからこそ、耐えて生きている。

copyright2026_kyosai-guild.jp

三

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

むかし、男ありけり。その男、伊勢の国に狩の使にいきけるに、かの伊勢の斎宮なりける人の親、「つねの使よりは、この人よくいたはれ」とⅠいひやれりければ、親の言なりければ、いとねむごろにいたはりけり。朝には狩にいだしたててやり、夕さりはかへりつつ、そこに来させけり。かくて、ねむごろにいたつきけり。二日といふ夜、男、われて「あはむ」といふ。女もはた、いとあはじとも思へらず。されど、人目しげければ、えあはず。※1使ざねとある人なれば、遠くも宿さず。女のねや近くありければ、女、人をしづめて、子一つばかりに、男のもとに来たりけり。男はた、寝られざりければ、外の方を見いだしてふせるに、月のおぼろなるに、小さき童を先に立てて人立てり。男、いとうれしくて、わが寝る所に率て入りて、子一つより丑三つまであるに、まだ何ごとも語らはぬにかへりにけり。男、①いとかなしくて、寝ずなりにけり。つとめて、Aいぶかしけれど、わが人をやるべきにしあらねば、いとB心もとなくて待ちをれば、明けはなれてしばしあるに、女のもとより、詞はなくて、

W　君や来しわれやゆきけむおもほえず夢かうつつか寝てかさめてか

男、いといたう泣きてよめる、

X　かきくらす心のやみにまどひにき夢うつつとは今宵さだめよ

とよみてやりて、狩にいでぬ。野に歩けど、心はそらにて、今宵だに人しづめて、いととくあはむと思ふに、国の守、斎の宮の※2頭かけたる、狩の使ありと聞きて、夜ひと夜、酒飲みしければ、もはらあひごともえせで、明けば尾張の国へたちなむとすれば、男も人知れず血の涙を流せど、えあはず。夜やうやう明けなむとするほどに、女がたよりいだす盃のさらに、歌を書きていだしたり。取りて見れば、

Y　かち人の渡れど濡れぬえにしあれば

と書きて末はなし。その盃のさらに続松の炭して、歌の末を書きつぐ。

Z　またあふ坂の関はこえなむ

とて、明くれば尾張の国へこえにけり。

※1　使ざね……正史。狩りの使の一行中、他の人々は離れた所に泊まる。
※2　頭かけたる……斎宮寮の長官を兼ねている人。

問一　本文中のⅠいひやれりければの文法的説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　動詞「いひやる」の未然形＋尊敬の助動詞「る」の連用形＋過去の助動詞「けり」の連体形＋原因・理由を表す助詞「ば」
イ　動詞「いひやる」の未然形＋存続の助動詞「り」の連用形＋過去の助動詞「けり」の連体形＋順接の仮定条件を表す助詞「ば」
ウ　動詞「いひやる」の已然形＋完了の助動詞「り」の連用形＋過去の助動詞「けり」の已然形＋順接の確定条件を表す助詞「ば」
エ　動詞「いひやる」の已然形＋受身の助動詞「る」の連用形＋過去の助動詞「けり」の已然形＋単純接続を表す助詞「ば」

copyright2026_kyosai-guild.jp

問二　波線部Ａ・Ｂの意味として、最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

Ａ　いぶかしけれど

ア　腹立だしかったが
イ　気がかりであったが
ウ　心引かれていたが
エ　不安に思っていたが

Ｂ　心もとなくて

ア　思い煩って
イ　頼りない様子で
ウ　じれったい思いで
エ　手持ち無沙汰で

問三　傍線部①とあるが、その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　女と逢うことのままならない状況に耐えられなくなったから。
イ　女と過ごす中で、女に好意を抱いていることが分かったから。
ウ　女と使用人は共に姿を見せたが、早朝に帰ってしまったから。
エ　女と共に過ごしたが、打ち解けない間に帰ってしまったから。

問四　和歌Ｗ・Ｘから読み取れる内容として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　女は男の方から通ってこなかったことに不満を感じており、男は自分の不甲斐なさを嘆き、ひどいことをさせてしまったと謝っている。
イ　女は男のところへ出向いたことに気まずさを感じており、男はそんな女の心持ちに落胆するとともに女の態度が不誠実であると訴えている。
ウ　女は男のところへ出向いたことをひどく後悔しており、男はそんな女を憐れに思い、昨日の逢瀬は夢の中での出来事であると慰めている。
エ　女は男との逢瀬を現実の出来事ではなかったような言い方をしており、男はそんな女の心を悲しく思い、今夜逢うことで心を決めてほしいと促している。

問五　Ｙ・Ｚについて次の問いに答えよ。

(1)　Ｙに用いられている修辞法として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　掛詞　　イ　体言止め　　ウ　枕詞　　エ　折句

(2)　Ｚの示す意味として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　再会の約束　　イ　今生の別れ　　ウ　帰省の挨拶　　エ　来世の誓言

問六　本文の内容として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　女は親に男のもてなしを命じられたが、男を一目見た時から好意を抱いたので、必要以上に心をこめてもてなした。
イ　二人の周囲には人目が多く、なかなか逢うことがかなわなかったが、月の明るい夜に召使いの手引きを受け、逢うことがかなった。
ウ　男は女と逢おうとした日に国守との酒宴に招かれ、逢うことができなかったことで、関係を深めることができなかった。
エ　女は男が帰省する日に自身の涙を擬した酒を盃に注いで送り、それに対して男は墨をする暇を惜しみ、続松の炭で書いた和歌を女に贈った。

問七　この文章が収載されている作品名として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　大和物語　　イ　伊勢物語　　ウ　十訓抄　　エ　夜半の寝覚

copyright2026_kyosai-guild.jp

四

次の文章は『晏子春秋』の一節である。これを読んで、後の問いに答えよ。（ただし設問の都合上、本文の一部を改変したり、返り点や送り仮名を省略したりしている。）

晏子（※1）使レ楚（※2）。以二晏子一ノ短ナルヲ一、楚人為二小門一ヲ于大門之側一ニ而延（※3）ク二晏子一ヲ。晏子不レ入ラ曰ク、「使スルク二狗一ヲ国ニ者ハ、従二①狗門一ヨリ入ル。今臣使レ楚ニ。②不当従此門入」。儐者（※4）更メ道ヲ、従二大門一ヨリ入リ、a見二楚王一ニ。王曰ク、「斉ニ無キレ人耶ト。」晏子b対ヘ曰ク、「臨淄（※5）三百閭（※6）、張リテ袂ヲ成シレ陰ヲ、揮フヒテ汗ヲ成スレ雨ヲ。比ベレ肩ヲ継ギテ踵ヲ而在リ。何為レゾ無カラント人ト。」王曰ク、「③然則子何為使乎。」晏子対曰ク、「斉命ズルニ使ヲ、各有リレ所レ主トスル。其ノ④賢者使レ賢使レ賢王一ニ、不肖者使レ不肖王一ニ。嬰ハ最モ不肖ナリ、故ニ直ダ使スルノミト楚ニ矣。」

※1　晏子……晏嬰。春秋時代、斉の国の宰相。
※2　楚……国名。
※3　延……ひきいれる。さしまねく。
※4　儐者……賓客を接待する人物。
※5　臨淄……斉の都。
※6　三百閭……人口が多いことをいう。閭は二十五家を一閭とする単位。

問一　二重傍線部a・bの読みを、**送り仮名も含めてひらがなで**答えよ。（現代仮名遣いでもよい。）

問二　傍線部①について、同じ意味を表す別の語を本文中から抜き出せ。

問三　傍線部②は「当に此の門より入るべからず」と訓読する。これを参考にして**返り点**を施せ。（**送り仮名は不要**。）

copyright2026_kyosai-guild.jp

問四　傍線部③を現代語訳せよ。

問五　傍線部④を書き下し文に改めよ。

問六　晏子は自分が楚に使いに来た理由をどのように答えているか。七十字以内で説明せよ。

問七　本文の内容として正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　晏子は謙虚な人柄であり、大きな門から入ることを遠慮した。

イ　晏子は斉の国の人口が非常に多く、人材も豊富であると述べた。

ウ　晏子は使者を馬鹿にする楚の国に対し、まるで犬の国のようだと立腹した。

エ　楚の国では晏子の評判がもともと高かったため、使いに来た晏子を礼遇した。

オ　楚王は晏子の機知に感心して、斉には他にも立派な人物はいるのかと尋ねた。

copyright2026_kyosai-guild.jp

国語
受験番号
氏名

令和八年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

一　25点（問一　3点（各1点）、問二　2点、問三　問四　6点、問六　問七　3点）

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七
a　覆	ウ	コンピューターを使ったアートによって、来 場者が自らその空間の創造者となれることで、能 公共空間をたただの空間に参加するものではなく、 的に関わるものに変えたということ。 (77字)	現在しか扱えないメディアが現状を肯定しが ちであるのに比べて、アートは現在を過去と比 較することで、今起こっていることを長い時 間の中で冷静に評価できるから。 (80字)	エ	ア	オ
b　徹底						
c　閉鎖						

copyright2026_kyosai-guild.jp

国語
受験番号
氏名

令和八年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

二　25点（問一　3点（各1点）、問二　問四　問八　2点、問三　問五　問七　3点、問六　7点）

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八
a 威圧	エ	ウ	エ	イ	母親が死んだことによって、幾代と深くつながり、兄や妹にさえ感じていた身体の引け目や悲しさを一緒に背負ってくれる唯一の存在が失われてしまったから。(72字)	ア	オ
b 縁故							
c 紡績							

copyright2026_kyosai-guild.jp

令和八年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

国語	受験番号		氏名	

三　25点（問二ＡＢ　各2点、その他　各3点）

問一	問二		問三	問四	問五		問六	問七
	Ａ	Ｂ			(1)	(2)		
ウ	イ	ウ	エ	エ	ア	ア	ウ	イ

copyright2026_kyosai-guild.jp

国語
受験番号
氏名

令和八年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

四

25点（問一　各2点、問二　問三　問五　問七　各3点、問四　4点、問六　5点）

問一
a　まみゆ
b　こたへて（こたえて）

問二
小門

問三
不レ当下従二此門一入上

問四
それならばどうしてあなたが使いに来たのですか。

問五
賢なる者（賢者）は賢王（賢なる王）に使せしめ、

問六

斉	肖	で	れ
の	な	は	た
国	王	最	と
で	に	も	答
は	派	不	え
賢	遣	肖	て
い	す	な	い
者	る	の	る
を	こ	で	。
賢	と	、	
い	と	最	(69字)
王	し	も	
に	て	不	
、	お	肖	
不	り	な	
肖	、	楚	
な	自	に	
者	分	派	
を	は	遣	
不	斉	さ	

問七
イ

copyright2026_kyosai-guild.jp